

決算特別委員会会議録

開会時間 午前10時59分

閉会時間 午後2時31分

日時 平成30年10月18日(木)

場所 委員会室棟大会議室

委員出席者 委員長 渡辺 英機
副委員長 佐藤 茂樹
委員 浅川 力三 石井 脩徳 大柴 邦彦
永井 学 渡辺 淳也 乙黒 泰樹 早川 浩
水岸 富美男 清水 喜美男 古屋 雅夫 小越 智子

委員欠席者 白壁 賢一 塩澤 浩

説明のため出席した者

県土整備部長 垣下 禎裕 県土整備部理事 水上 文明
県土整備部次長 小澤 浩 県土整備部技監 丹澤 彦一
県土整備部技監 望月 一良 総括技術審査監 佐藤 昭夫
県土整備総務課長 成島 春仁 景観づくり推進室長 清水 宏
建設業対策室長 渡邊 健二 用地課長 大野 健
技術管理課長 小林 伸二 道路整備課長 清水 敬一郎
高速道路推進課長 飯野 照久 道路管理課長 小島 一男
治水課長 武藤 敏正 砂防課長 越智 英人 都市計画課長 樋口 有恒
下水道室長 薬袋 光宏 建築住宅課長 渡井 攻
住宅対策室長 久保寺 淳 営繕課長 小田切 浩

労働委員会事務局長 前嶋 健佐 労働委員会事務局次長 鈴木 昌樹

防災局長 若林 一紀 防災局次長 神宮司 易
防災局次長(防災危機管理課長事務取扱) 小澤 祐樹 消防保安課長 西川 秀之

森林環境部長 井出 仁 林務長 島田 欣也
森林環境部次長 山本 盛次 森林環境部次長 山岸 正宜
森林環境部技監 金子 景一
森林環境総務課長 保坂 陽一 大気水質保全課長 渡辺 延春
環境整備課長 本田 晴彦 みどり自然課長 村山 力
森林整備課長 増田 義昭 林業振興課長 山田 秋津
県有林課長 鷹野 裕司 治山林道課長 中込 巖

総合政策部長 平賀 太裕 総合政策部理事 上野 直樹
総合政策部理事 藤森 克也 総合政策部次長 末木 憲生
総合政策部次長(秘書課長事務取扱) 小林 厚
政策企画課長 上野 良人 オリンピック・パラリンピック推進室長 古屋 友広
リニア環境未来都市推進室長 石寺 淳一 広聴広報課長 大久保 雅直

地域創生・人口対策課長 津田 裕美

県民生活部長 立川 弘行

県民生活部次長 三井 薫 県民生活部次長 長田 公

県民生活・男女参画課長 小田切 春美

北富士演習場対策課長 斉藤 直紀 統計調査課長 若尾 誠

消費生活安全課長 砂田 英司 生涯学習文化課長 井上 泰子

世界遺産富士山課長 入倉 博文 私学・科学振興課長 藤原 鉄也

出納局次長(会計課長事務取扱) 平塚 幸美

議題 認第 1 号 平成 29 年度山梨県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定の件
認第 2 号 平成 29 年度山梨県公営企業会計決算認定の件

審査の概要 午前 11 時 01 分から午前 11 時 38 分まで県土整備部・労働委員会事務局関係、午後 1 時 01 分から午後 1 時 40 分まで防災局・森林環境部関係、午後 1 時 55 分から午後 2 時 31 分まで総合政策部・県民生活部関係の部局審査を行った。

質 疑 県土整備部・労働委員会事務局関係

(JR 東海の分担金について)

小越委員 まず、決算説明資料、県土の 3 ページ。確認なんですけれども、雑入の東海旅客鉄道株式会社負担分、これは耐荷補強工事の橋の JR 東海側の負担金ということでよろしいんですね。それで、9 億 1,800 万円全額を使ったのか、不用品や繰越があるのか。県のこの事業の負担はどこで幾らになるんでしょうか。

小島道路管理課長 県土 3 ページの東海旅客鉄道株式会社負担分 9 億 1,898 万 9,000 円でございますが、これは今、委員が言われましたように、JR 東海の残土を運搬するに当たっての耐荷補強工事に伴う JR から負担していただいた金額でございます。

それから、これにつきましては、県と JR で負担割合を決めました。山梨県が 11%、JR が 89%。それから、9 億 1,800 万円については、全て執行しております。

小越委員 9 億 1,800 万円全額執行したというんですけど、先ほどの県が 11% 負担というのは、このどこに幾らで出てくるのか。この 9 億は JR 東海側の負担だと思うので、11% 分はどこに入って、幾らなんんでしょうか。

小島道路管理課長 県の負担金につきましては、道路修繕費といたしまして、県土の 6 ページの上段から数えて 5 行目の南アルプス公園線 15 億 6,704 万 7,000 円でございます。この中に含まれております。

小越委員 それの中の、15 億円のうち幾らなんですか。

小島道路管理課長 大変申しわけございません。確認をしますので、しばらくお待ちいただけますか。

(リニア中央新幹線建設工事発生土処分受託事業費について)

小越委員 それから、県土 5 ページのリニア中央新幹線建設工事発生土処分受託事業費 4 億 7,000 万円なんですけど、これは事業を発注し歳出したお金だと思うんですけど、JR 東海側から受託した金額は幾らで、それはどこに入っているのか御説明ください。

清水道路整備課長 これは委員おっしゃるとおりで、リニアのトンネルからの残土を県道の早川芦安連絡道路に有効利用しようということで、JR 東海のほうから全て受託しているものでございまして、ここに 4 億 7,600 万ほどが載っておりますが、これが平成 29 年度に発注した金額でございます。予算としては 14 億 8,000 万円ほどありまして、残りの金額が県土の 17 ページ、「翌年度繰越の状況は、次のとおりです」の上から 3 段目ぐらいのところ、リニア中央新幹線の発生土の受託事業費として 11 億円ほどが繰越ということになってございます。

予算としては 14 億 8,000 万円ほどありまして、今の 4 億 7,600 万円ほど執行しましたので、繰越が 10 億 1,000 万円ほどあるというような状況でございます。

(建設業指導監督費について)

小越委員 県土の 5 ページの建設業指導監督費のうち、やまなし建設産業活性化支援対策費なんですけど、平成 28 年度に比べて約半分ぐらいになっているんですが、何か事業を変えたのでしょうか。

その下に、建設業を担う人材の確保・育成ということで 199 万円計上されているんですけど、958 万円から 199 万円を引くと、残りほとんどなのが。こっちのほうが数字が大きいですけど、どんなことだったんでしょうか。

渡邊建設業対策室長 やまなし建設産業活性化支援対策費につきましては、昨年度と事業を変えているわけではありません。事業の内容といたしましては、未来を支える建設業就業促進事業と建設業経営多角化補助金、建設業若年技能者人材育成促進事業費補助金等であります。

主要成果説明書の 199 万 2,000 円につきましては、未来を支える建設業就業促進事業費で 147 万 7,000 円、若年技能者人材育成事業で 51 万 5,000 円を執行しております。

小越委員 昨年と同じことをやっているという話ですけど、昨年の決算でいくと、もうちょっと数字が大きかった気がしたんですけど。1,800 万円ぐらい昨年はあって、この建設業を担う人材というのが、主要成果説明書の 121 ページにたしかあるんですけど、去年と同じことをしているって言うけど、平成 28 年度が 976 万円で、昨年度は 199 万円って、だいぶ減っているんですけど、何かやめたことがあるのか、回数を減らしたとか、何かあるんですか。わからなかったら後でいいです。主要成果説明書を見ると、昨年の半分になっているので、ちょっと、何か変わったのかなと思ったんですけど。

渡邊建設業対策室長 すみません、後ほど調べて説明させていただきます。

(公共団体土地区画整理事業費補助金について)

小越委員 県土の 15 ページの真ん中あたりにあります公共団体土地区画整理事業費補助金の交付が、甲府市とありますが、これは甲府市横沢の区画整理に伴う金額を

執行したという理解でいいかと思うんですけど、これについて繰越もあるんでしょうか。それがあるとしたらどこなのか。金額は幾らなのか。どこか載っているんでしょうか。

樋口都市計画課長 県土 15 ページの公共団体土地区画整理事業補助金につきましては、今、委員のおっしゃられたとおり、甲府市の甲府駅周辺地区の公共団体施行による土地区画整理事業への補助金でございます。この補助金の繰越につきましては、県土の 19 ページをごらんください。下から五、六行目のところですがけれども、土地区画整理事業費ということで 3 億 5,293 万円余り繰り越しております。

小越委員 繰越が 3 億 5,293 万円で、執行したのが 3 億 4,728 万円というのは、これ、両方、繰越の中に全額この横沢の分が入っているんですか。それとも、別のものが入っているのか。いわゆる横沢地区のところに対して幾ら執行して、幾ら残ったのかという全額がわかったら教えてほしいんですけど。

樋口都市計画課長 今の御質問ですけれども、県土の 15 ページの 3 億 4,728 万 6,000 円が執行額でございます、県土の 19 ページの 3 億 5,200 万余りが繰越額ということでございます。

小越委員 じゃあ、これを足すと 7 億円以上ということですね。わかりました。
(公共事業のコスト構造改善の実施について)

もう一つ聞きたいのは、主要成果説明書の 140 ページの公共事業のコスト構造改善の実施というところで、「公共事業を効率的、効果的に推進するため、コストと品質を重視したコスト構造改善を実施し」と書いてあるんですけど、平成 26 年度を基準に総合コストの 15.1% 縮減というのは、これ、ちょっとどうということなのか。15.1% というのは何に対して縮減したのか、どういう基準なのか、説明をお願いしたいんですけど。

小林技術管理課長 これにつきましては、平成 26 年度の基準をもとにしまして、それに対して近年、いろいろな技術革新がございます。民間の新たな工法等によるコスト縮減とか、あと、基準の見直しとか、事業間の連携ですね。残土の流用とか、いろいろ、もろもろ縮減策がございます。それを 26 年度の基準に対してどのぐらい削減されたかということの一つの指標として取り組んでいるところでございます。

小越委員 15.1% というのは金額で減らしたという意味なんでしょうか。15.1% というのは何のことを意味しているのか教えてください。

小林技術管理課長 基本的には金額でございます。工事の発注ごとの工事金額を積み上げて試算してございます。

(JR 東海の分担金について)

小島道路管理課長 先ほどの委員からの御質問の雑入の JR 分、9 億 1,898 万 9,000 円に対しての県の負担額についてですが、県は 1 億 1,358 万 2,000 円でございます。

質 疑 防災局・森林環境部関係

(林業振興指導費について)

小越委員 主要成果説明書の 34 ページの林業振興指導費ですけど、予算現額に対して決算額が少なく、繰越が 21 億 2,372 万 4,000 円とあります。説明資料のほうの森の 11 に同じ金額で 21 億 2,372 万 4,000 円とあるんですけど、補助対象事業に繰越があったためという理由があるんですけど、これは具体的に補助事業の繰越ってというのは何だったのか。補正か何かで来たんでしょうか。説明をお願いします。

山田林業振興課長 この事業につきましては、平成 29 年度の国の補正予算を使いまして、キータックが大型の合板工場を整備するに当たって補助するというものであり、補正予算のため、年度内に仕上がらないということで繰越をしたものでございます。

(国庫支出金について)

小越委員 単純な質問ですけど、森の 1 ページの国庫支出金の (C) / (A)、予算に対しての収入が約半分なんですけど、これは何でこんなに少ないのか。予算の見積もりが違ったのか、国庫支出金が来なかったのか、そこを説明お願いしたいんですけど。

保坂森林環境総務課長 これは国庫補助事業の繰越に伴いまして、その財源が繰り越されたものでございます。

(恩賜県有財産特別会計の歳入決算について)

小越委員 もう 1 点だけお伺いしたいんですけど、森の 15 ページの恩賜県有財産の、先ほど御説明がありました財産収入の土地貸付料というのは、県有林地の別荘地などの貸している貸付料という理解でよろしいんでしょうか。

鷹野県有林課長 今回の土地貸付料ですけども、御質問のとおり、県有地を貸し付けして貸付料をいただいている収入でございます。

小越委員 28 年度に比べて若干金額がふえているんですけど、これを受けて森の 19 ページの交付金で、県有資産所在地市町村交付金を、該当する市町村に固定資産税の部分を払っていると思うんですけど、そこがちょっとだけですけど、減っているんですよ。土地貸付料の単価ですね。1 平米当たりの単価というのは、平成 28 年度と 29 年度で変わっているんでしょうか。

鷹野県有林課長 土地の代金につきましては、建物敷などについては 3 年に一度、経済情勢、土地価格等の状況を見ながら改定をすることになっています。29 年度の額につきましては、27 年度に見直した額がそのままとなっておりますので、貸付単価自体は 28、29 年度で変更はございません。

質 疑 総合政策部・県民生活部関係

(企画総務費について)

小越委員 県民生活部の主要成果説明書の 30 ページ、外国人観光客受入環境の整備促進で、企画総務費が予算に対して執行がゼロになっているのはなぜかなんですけど、

説明資料の県民の 4 ページのところは外国人観光客受入環境の整備促進がゼロになってはいるんですけど、ここの内容について、どんなことを計画していたのか、なぜゼロなのかを教えてください。

入倉世界遺産富士山課長 どのようなことを計画していたかということでございますが、富士山の登山道に無料のWi-Fiのスポットを19カ所計画しておいたところがございます。その予算が73万5,000円ということでございました。しかしですけれども、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスという会社と株式会社ドコモ山梨支社のほうからWi-Fi環境については無償での提供の申し込みがございましたものですから、その部分は当方としても無償提供ということで受け入れた結果、予定どおりの箇所数以上のWi-Fiの設置が可能となったものでございます。以上により、執行がゼロとなった理由でございます。

(企画総務費について)

小越委員 総合政策部の政の4ページ、それと成果説明書の2ページのところですけど、人口減少総合対策推進事業費、市町村と連携した取り組みの推進というのがあります。主要成果説明書の2ページのところは、これは市町村課とまたがっているのかちょっとわからないですけど、新たに昨年度、各圏域における地域創生連携会議の設置、運営、会議の開催、各3回やっていると思うんですが、その2つ上に、県市町村連絡会議の実施も3回やっているんですけど、これはどこが違うんでしょうか。

津田地域創生・人口対策課長 成果説明書2ページの県市町村連絡会議等、3回の実施ですけれども、これは全市町村の担当者を集めまして、県の施策を説明いたしましたり、また、市町村からの意見を聞いたという、そういった会議でございます。

各圏域における地域創生連携会議のほうですが、これは各県民センターが圏域内の市町村だけでなく、民間の団体、また企業といったところから有識者、あるいは学生といった地域づくりにかかわるような方を集めまして、その地域の魅力は何か、地域課題は何か、そういったところを圏域ごとに話し合った、そういった会議でございまして、別の会議でございます。

小越委員 一昨年の経費だったかもしれないんですけど、たしかリンクージュ人口の調査ということで、県人会に対してアンケートをしたことがあったと思うんですけど、それは29年度じゃなくて28年度の執行だったのか。29年度においてリンクージュ人口の調査や把握アンケートなどをやったものがあつたら、どこにあるのか。なかったらいいんですけど、教えてください。

津田地域創生・人口対策課長 リンケージュ人口関係のそういったアンケート調査につきましては、28年度と29年度に実施いたしました。29年度については、予算事業を取った中ではなく、経常経費の中で郵送料などを使って行いました。

小越委員 お金は昨年度使わなかったけど、この主要成果のところ、どこか書いてある事業があるんでしょうか。

津田地域創生・人口対策課長 主要成果説明書には直接そういったことは記載してございません。

その他

- ・ 労働委員会事務局については、経常的経費のみであるため、執行部からの概要説明は省略する扱いとした。

以 上

決算特別委員長 渡辺 英機